

生態学専攻者が 行政官として働く意義

環境省九州地方環境事務所

岸田 宗範

本日のメニュー

1. 行政官とは？
2. タテ割り行政の問題
3. 生態学専攻者がもつポテンシャル
4. 行政官の仕事～私の場合を例に～
5. 行政官を目指す際の注意点
6. 私個人のスタンス

各種待遇や試験対策のお話は別の機会に。

1. そもそも、行政官とは？

行政官 = 行政機関 (特に国) の 職員

“役所”

“役人”

“社会のお役を担い、役に立つ”が趣旨

…実際は、ミスマッチで批判ばかり…

1. そもそも、行政官とは？

国の行政機関・・・1府12省庁

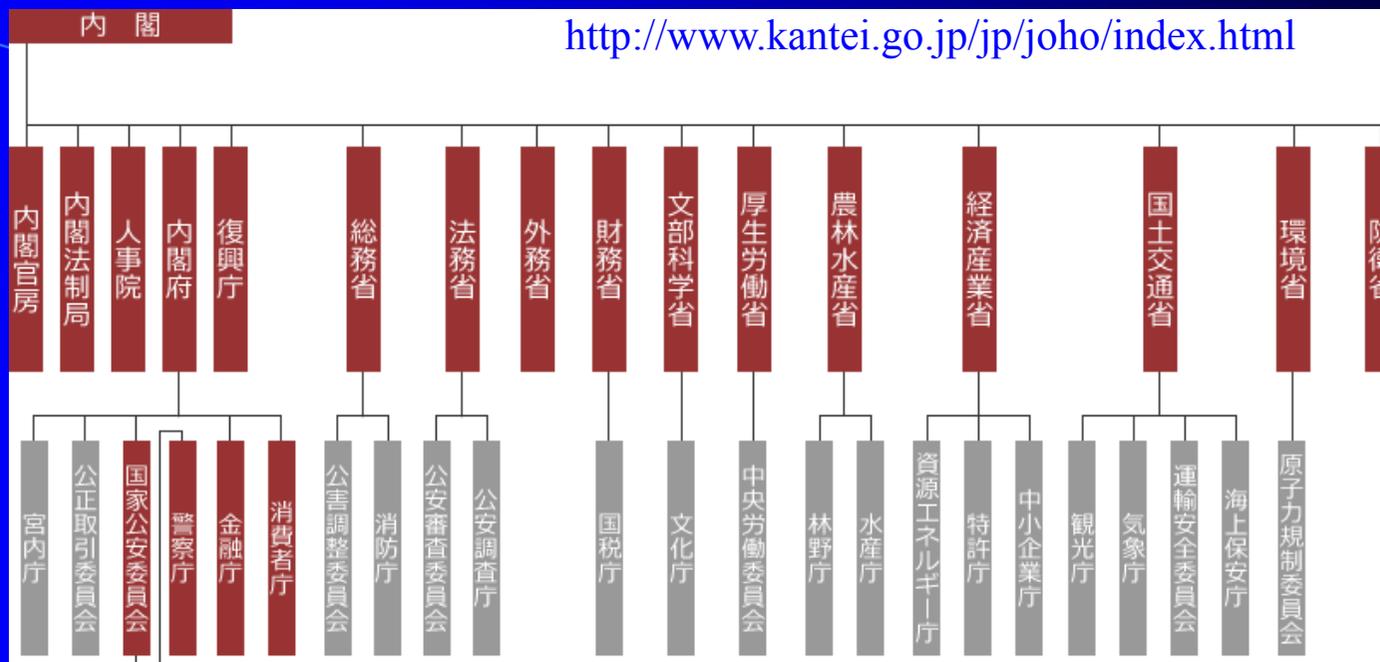
府・・・内閣府

省・・・総務，法務，外務，財務，文部科学，
厚生労働，農林水産，経済産業，
国土交通，環境，防衛省

庁・・・警察庁(国家公安委員会)



1. そもそも、行政官とは？

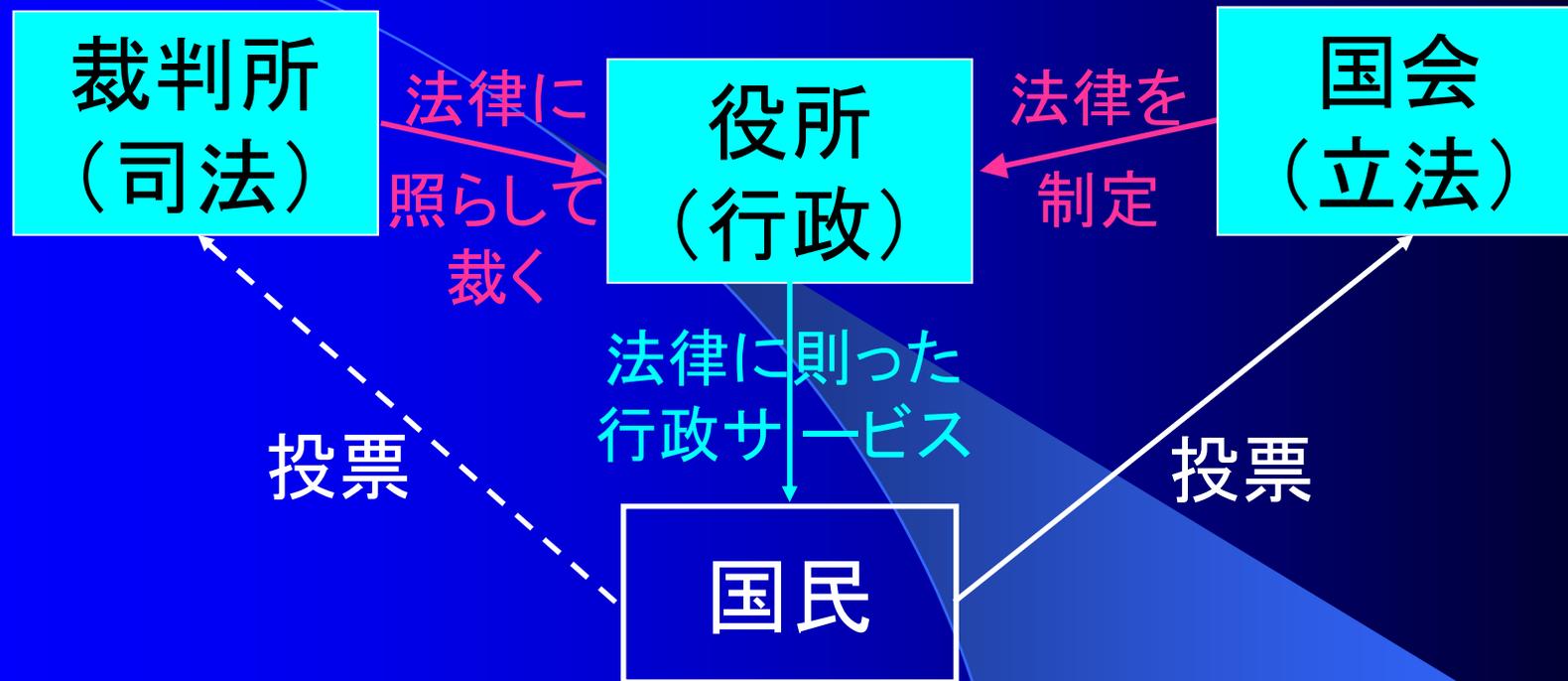


- ・人事管理は省庁単位
- ・事業実施も省庁単位
- ・法律に基づく許認可も基本は省庁単位

“タテ割り行政”

1. おまけ

なぜ、役所は“法律, 法律”と言うのか？



国民から投票で選ばれていない役所は、暴走しないよう、法律で監視されている。

2. タテ割り行政の問題

- ・人事管理は省庁単位
- ・事業実施も省庁単位
- ・法律に基づく許認可も基本は省庁単位

省庁 ≒ 会社

“省庁はタテ割りの方が動きやすい”

“個別分野ではタテ割りの方が効率的”

2. タテ割り行政の問題

E.g. 日本の海洋政策

河口・海岸線・・・国交省水管理・国土保全局
港湾・・・国交省港湾局
農地地先・・・農水省農村振興局
漁港・・・農水省水産庁
航行水路・・・国交省海上保安庁
海洋気象観測・・・国交省気象庁
漁業操業海域・・・農水省水産庁
自然環境の優れた海域・・・環境省自然環境局
閉鎖性海域・・・環境省水・大気環境局
海表面・深海観測・・・文科省研究開発局
海底資源・・・経産省資源エネルギー庁

生物多様性条約“総合的海洋管理”

2. タテ割り行政の問題

総合海洋政策本部が設置され、データの持ち寄りが進められているが、海洋生態系全体の動態を把握できるようなデータ収集体制は未構築

“省庁はタテ割りの方が動きやすい”

“国民はタテ割り解消を求めている”

共同で課題分析を行った上で、
適切な役割分担と連携を！

生態学専攻者

2. おまけ

学部の研究テーマ：群集生態学

“東京湾湾奥の干潟の仔稚魚群集の季節遷移”



仔稚魚の種組成を通して干潟の機能を見る！

2. おまけ

修士の研究テーマ: 個体群生態学
“若狭湾に来遊するマアジ稚魚の生態形態学”



マアジを通して世界を見る！

3. 生態学専攻者がもつポテンシャル

共同で課題分析を行った上で、
適切な役割分担と連携を！

- ①文理融合的な視点
- ②生態系の特性への基本理解
- ③統計学の素養
- ④フィールドの重要性の認識

3. 生態学専攻者がもつポテンシャル

①文理融合的な視点

・進化生態学的視点:

ヒトの行動・生態は生物進化の産物
“社会・文化”

⇒社会科学・人文科学の専攻者でなくても
社会や文化への理解力がある。



3. 生態学専攻者がもつポテンシャル

① 文理融合的な視点

- ・生態系生態学的視点：
ヒトの社会は生態系の物質循環の一部

⇒人間社会と自然環境とを切り離さずに
ひとつの系として捉えることができる。



3. 生態学専攻者がもつポテンシャル

②生態系の特性への基本理解

対象システムがもつ

- ・変動性
- ・不確実性
- ・非線形性
- ・不可知性(全ての要素は知り得ない)

ある工学系職員のぼやき

“測量設計した道路等の管理ならできるが、
設計図のない生態系を管理できるのか？”

3. 生態学専攻者がもつポテンシャル

③フィールドの重要性の認識

生態学はフィールド科学！
(理論研究者であってもフィールドへの
理解がある)

会議室(研究室) vs. 現場(フィールド)

タテ割りの解消にあたっては、
現場での問題意識の共有が原点

3. 生態学専攻者がもつポテンシャル

④統計学の素養

様々な主体が収集・集計したデータを基に客観的に課題分析する上で、以下が必要。

- ・データ処理の適切性への判断力
- ・モデル予測への理解
- ・“指標”の利点・欠点への理解

実態としては…,

調査会社や検討委員が統計処理して提示した

ものは鵜呑みにされる場合が多い。

3. 生態学専攻者がもつポテンシャル

- ①文理融合的な視点
- ②生態系の特性への基本理解
- ③統計学の素養
- ④フィールドの重要性の認識

科学的データを基に関係行政機関をつなぐことの出来る人材を！

4. 行政官の仕事～私の場合を例に～

①環境省自然環境局生物多様性センター



自然環境データの収集・管理・提供
業務対象範囲：日本全国

4. 行政官の仕事～私の場合を例に～

①環境省自然環境局生物多様性センター



モニタリングサイト1000の企画・発注・検討



全国一斉ガンカモ調査

生物多様性の普及啓発

4. 行政官の仕事～私の場合を例に～

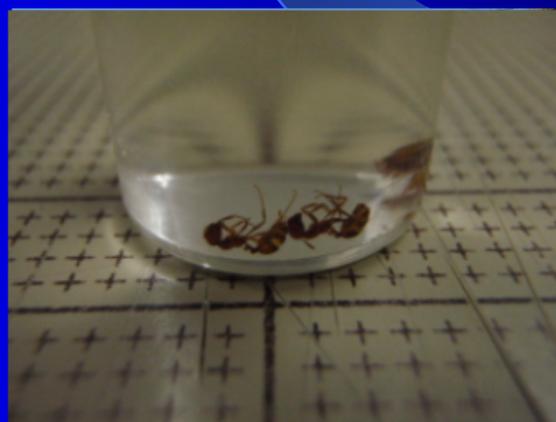
②環境省自然環境局野生生物課



外来生物法に関する許認可、照会対応、
特定外来生物に関する防除、苦情対応
業務対象範囲：日本全国

4. 行政官の仕事～私の場合を例に～

②環境省自然環境局野生生物課



特定外来生物に関するあらゆる問い合わせ・苦情に対応

4. 行政官の仕事～私の場合を例に～

③外務省CBD-COP10日本準備事務局



生物多様性条約COP10の準備・運営に関する条約事務局・地元・関係7省との調整
業務対象範囲: 名古屋国際会議場

4. 行政官の仕事～私の場合を例に～

③外務省CBD-COP10日本準備事務局



COP10のサイドイベント・展示会場の準備運営、
報道機関のためのメディアセンター設営

4. 行政官の仕事～私の場合を例に～ ④環境省九州地方環境事務所



自然公園法に係る許認可、阿蘇草原再生、
世界遺産等の登録に向けた協力等
業務対象範囲:阿蘇くじゅう、雲仙天草、瀬戸内海

4. 行政官の仕事～私の場合を例に～

④環境省九州地方環境事務所



阿蘇の四季に合わせて、草原再生活動を関係者と連携して実施

4. 行政官の仕事～私の場合を例に～

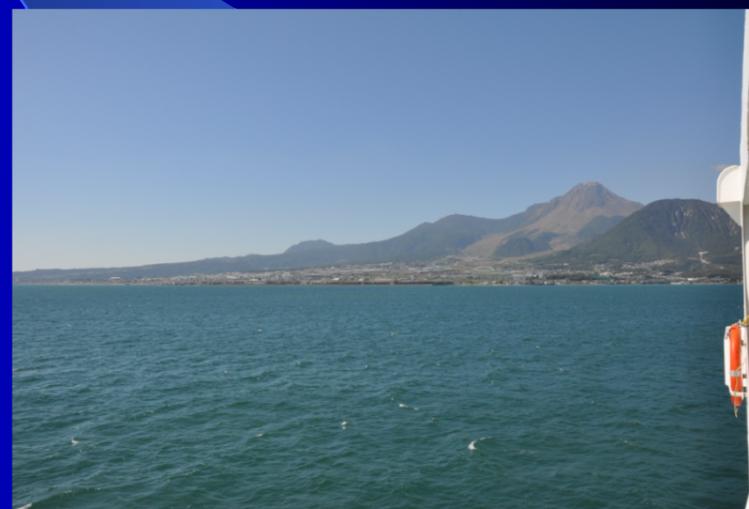
④環境省九州地方環境事務所



阿蘇の四季に合わせて、草原再生活動を関係者と連携して実施

4. 行政官の仕事～私の場合を例に～

④環境省九州地方環境事務所



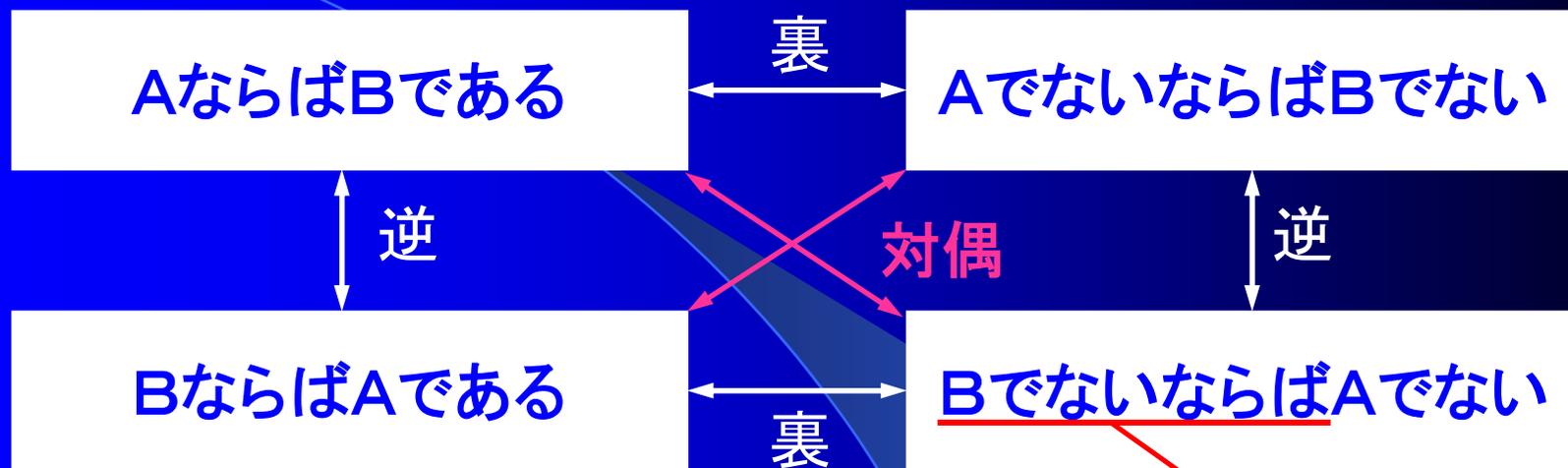
5. 行政官を目指す際の注意点

- ・自ら研究・調査はできない
- ・階級的組織への(形式的な)順応が必要
- ・研究者と行政官の生態的差異への理解

科学的データを基に“研究者を介して”
関係行政機関をつなぐことの出来る人材へ

5. 行政官を目指す際の注意点

研究者と行政官の生態的差異①



この仮定が一部の国民のトラウマを呼び起こさせる場合もある

科学研究が拠って立つ論理学では対偶は同値だが、行政の場面では同値ではない！

5. 行政官を目指す際の注意点

研究者と行政官の生態的差異②

行政官は現状を**是認**したがる

役所絡みの案件も多く、経緯はやむなしとの認識。役所だけでは要因を変えられない場合も多い。

現状が生じた**経緯・要因**を（表も裏も）広く知っている。

研究者は現状を**否認**したがる

経緯をやむなしとは捉えない。せつかく特定した要因についてはなんとしてでも変えたい。

現状に直結した**経緯や要因**を特定するのが得意。

両者の得意分野を活かして連携を！

6. 私個人のスタンス

—行政官
としての見解

—研究者
としての見解

—国民
としての見解

- ・—行政官である前に—研究者であり、その前に—国民。3つの立場を区別し、折り合いをつけていくことが重要。
- ・省益・国益ではなく、国民益を！